

報告第24号

専決処分したものの報告について

市長に委任する専決処分事項の指定について（平成28年12月27日議決）の規定により、下記の事項について別紙のとおり専決処分したから、地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条第2項の規定により報告する。

平成30年11月30日提出

豊岡市長 中 貝 宗 治

記

損害賠償の額を定めることについて

専決第20号

損害賠償の額を定めることについて

損害賠償の額の決定について、市長に委任する専決処分事項の指定について（平成28年12月27日議決）の規定により、下記のとおり専決処分する。

平成30年11月19日専決

豊岡市長 中 貝 宗 治

記

事件区分及び 事故発生年月日	物損事故 平成30年10月27日（土）午前3時から午前8時の間
事故発生場所	兵庫県豊岡市栄町1118番地 市営栄町住宅駐車場内（4号棟前）
相手方の 住所氏名	■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■
損害賠償額	263,640円
事故の概要	市が管理する山林から腐朽した雑木が折れて倒れ、駐車していた相手方所有の自家用車に接触し、左側フェンダー及びボンネットを損傷させたもの。 (過失割合 豊岡市 10割)

報告第 25 号

株式会社北前館第 27 期の決算及び第 28 期の事業計画に関する書類について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 243 条の 3 第 2 項の規定により、別紙のとおり報告する。

平成 30 年 11 月 30 日提出

豊岡市長 中 貝 宗 治

決算等の状況の報告

株式会社 北 前 館

株式会社北前館第 27 期事業報告

1 事業の概要と成果

レストラン部門は、前期に引き続き地元食材を使用した新しいメニュー作りに取り組んだものの、地域の皆さんに十分に浸透せず、また原価率も依然として高く赤字体質から脱却できませんでした。

平成30年1月末のレストラン部門の実績は売上額で前年比1,949千円減の7,836千円、経常利益は前年より595千円悪化して、4,745千円の赤字となりました。このような状況を踏まえて、今後レストラン部門をどうすべきか役員会で慎重に審議した結果、直営で継続することは困難との結論に至り、3月末で一旦休業することといたしました。

3月下旬から委託先の募集を行い、応募があった「布袋クリエイティブ合同会社」と協議し、レストラン業務を委託することに決定しました。

一方、但馬労働基準監督署の行政指導を受け、時間外手当などの未払いが生じていると指摘され、精算して支払ったことやレストラン部門の直営を取り止めたことによる従業員への特別退職金支給など特別な費用として3,243千円の支出が生じました。

総売上高は65,996千円と前年比24,637千円減少しましたが、経常利益は158千円の黒字となりました。しかし、今期に限った経営改善等に伴う特別損失3,243千円が発生したことから当期純利益は3,293千円の赤字となりました。

今期は懸案であったレストランの運営を外部に委託すると言う重大な決定をいたしました。臨時株主総会が必要との声もありましたが、役員会の判断のみで決定しましたことにご理解を賜りますとともに、今後ともご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。第27期の営業報告と致します。

2 売上状況

(単位:千円)

部 門	レストラン	温 泉	特産品店	業務受託	駐車場	ジオパーク	その他	合 計
売上高	11,134	19,142	9,794	9,189	9,491	5,574	1,672	65,996

3 営業成績及び財産状況の推移

(単位:千円、一株当たり当期利益のみ円)

区 分	第23期 平成26年9月	第24期 平成27年9月	第25期 平成28年9月	第26期 平成29年9月	第27期 平成30年9月
売 上 高	84,076	98,171	99,520	90,634	65,996
経 常 利 益	△5,828	1,319	4,178	△2,616	158
当 期 利 益	△6,039	1,111	4,005	△2,815	△3,293
一株当たり当期利益	△12,078	2,222	8,010	△5,630	△6,587
総 資 産	34,292	35,477	31,301	23,220	32,539
純 資 産	△25,125	△24,014	△20,009	△22,824	△26,118

4 会社概要

- (1) 商 号 株式会社北前館
- (2) 本 店 兵庫県豊岡市竹野町竹野 50 番地の 12
- (3) 成立年月日 平成 3 年 10 月 7 日
- (4) 事 業
- ア レストラン、喫茶店の経営に関する事業
 - イ 温泉浴場施設の管理運営に関する事業
 - ウ 特産品の開発及び加工並びに販売に関する事業
 - エ 公共施設の維持管理に関する事業
 - オ 駐車場の管理運営に関する事業
 - カ 飲食物、日用品等の販売に関する事業
 - キ 温泉の配湯に関する事業
 - ク 公共的団体の事務局に関する事業
 - ケ 山陰海岸ジオパークのガイドに関する事業
 - コ 前各号に付帯又は関連する一切の事業
- (5) 発行株式
- ア 発行済株式の総数 500 株
 - イ 発行価格 1 株当たり 50,000 円
 - ウ 当期末株主数 128 人
- (6) 資本金の額 2,500 万円

5 社 員

(単位:人)

区 分	社 員	パート・アルバイト	合 計
前期末 平成 29 年 9 月 30 日	6	3	9
当期末 平成 30 年 9 月 30 日	3	3	6
増 減	△3	0	△3

6 取締役及び監査役

役 職 名	氏 名	備 考
代表取締役	石 田 孝 一	
取 締 役	太田垣 健 作	
取 締 役	岩 井 美 晴	
取 締 役	藤 原 誠	
取 締 役	濱 松 淳	
取 締 役	米 田 達 也	
監 査 役	太田垣 征 司	
監 査 役	宮 嶋 俊 夫	

決 算 報 告 書

第 27 期

自 平成 29 年 10 月 1 日

至 平成 30 年 9 月 30 日

株式会社 北前館
兵庫県豊岡市竹野町竹野 50 番地の 12

貸借対照表

株式会社 北前館

平成30年9月30日現在

科 目	金 額	科 目	金 額
			円
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	(26,793,570)	流動負債	(20,313,803)
現金・預金	24,921,321	買掛金	228,623
売掛金	736,101	短期借入金	8,000,000
棚卸資産	838,741	1年以内返済長期借入金	5,842,000
前払費用	273,297	未払金	3,470,015
仮払金	30,110	リース未払金	1,703,508
貸倒引当金	△6,000	未払法人税等	211,000
		未払消費税等	793,200
		預り金	65,457
固定資産	(5,745,728)	固定負債	(38,344,000)
有形固定資産	(3,599,235)	長期借入金	38,344,000
建物	1,684,619	負債の部計	58,657,803
構築物	37,429		
工具・器具・備品	173,677	(純資産の部)	
車両運搬具	2	株主資本	(△26,118,505)
リース資産	1,703,508	資本金	25,000,000
無形固定資産	(1,064,042)	利益剰余金	(△51,118,505)
ソフトウェア	1,064,042	利益準備金	800,000
投資その他資産	(1,082,451)	その他利益剰余金	(△51,918,505)
出資金	13,000	繰越利益剰余金	△51,918,505
長期前払費用	1,069,451	(うち当期純利益)	(△3,293,522)
		純資産の部計	△26,118,505
資産の部計	32,539,298	負債・純資産の部計	32,539,298

損 益 計 算 書

株式会社 北前館

自 平成 29 年 10 月 1 日
至 平成 30 年 9 月 30 日

科 目	金 額	
【売 上 高】		円 65,996,945
レストラン売上高	11,134,356	
温泉浴場売上高	19,142,370	
特産品店売上高	9,794,286	
受 託 料	9,189,000	
駐 車 場 整 理 料	9,491,500	
ジオカヌー利用料	5,573,500	
そ の 他	1,671,933	
【売 上 原 価】		12,129,766
期首棚卸高	1,456,452	
仕入高	11,189,410	
合 計	12,645,862	
期末棚卸高	516,096	
売 上 総 利 益		53,867,179
【販売費及び一般管理費】		52,068,699
営 業 利 益		1,798,480
【営業外収益】		720
受 取 利 息	120	
受 取 配 当 金	600	
【営業外費用】		1,640,271
支 払 利 息	1,640,271	
経 常 利 益		158,929
【特 別 利 益】		2,000
貸倒引当金戻入	2,000	
【特 別 損 失】		3,243,451
経営改善費用	3,243,451	
税引前当期純利益		△3,082,522
法人税等充当額		211,000
当 期 純 利 益		△3,293,522

販売費及び一般管理費内訳書

株式会社 北前館

自 平成 29 年 10 月 1 日
至 平成 30 年 9 月 30 日

科 目	金 額	
		円
給 与 ・ 手 当	18,913,325	
広 告 宣 伝 費	1,027,148	
発 送 配 達 費	43,574	
役 員 報 酬	335,000	
法 定 福 利 費	1,836,423	
福 利 厚 生 費	251,759	
減 価 償 却 費	1,512,957	
賃 借 料	314,603	
修 繕 費	556,069	
事務用消耗品費	247,224	
通 信 交 通 費	1,425,495	
水 道 光 熱 費	12,960,862	
租 税 公 課	2,290,450	
会 費 負 担 金	786,800	
接 待 交 際 費	154,222	
保 險 料	873,997	
備 品 ・ 消 耗 品 費	2,422,859	
支 払 手 数 料	3,781,794	
車 両 関 係 費	387,457	
リ ー ス 料	318,351	
雑 費	1,628,330	
合 計		52,068,699

棚卸資産の計算内訳

株式会社 北前館

平成 30 年 9 月 30 日現在

科 目	金 額	
		円
商 品	516,096	
貯 蔵 品	322,645	
合 計		838,741

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 平成29年10月1日
至 平成30年9月30日
(単位：円)

株式会社 北前館

	株主資本							新株予約権	純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計			評価・換算 差額等合計
		資本準備金	他資本剰余金	利益準備金	他利益剰余金					
当期首残高	25,000,000			800,000	△48,624,983		△22,824,983		△22,824,983	
当期変動額										
剰余金の内訳科目間の振替										
剰余金の配当										
当期純利益					△3,293,522		△3,293,522		△3,293,522	
当期変動額合計					△3,293,522		△3,293,522		△3,293,522	
当期末残高	25,000,000			800,000	△51,918,505		△26,118,505		△26,118,505	

	利益剰余金の内訳					利益剰余金 合計
	利益準備金	退職給付 積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計	
当期首残高	800,000			△48,624,983	△47,824,983	
当期変動額						
剰余金の内訳科目間の振替						
剰余金の配当						
当期純利益				△3,293,522	△3,293,522	
当期変動額合計				△3,293,522	△3,293,522	
当期末残高	800,000			△51,918,505	△51,118,505	

個別注記表

株式会社 北前館

自 平成 29 年 10 月 1 日
至 平成 30 年 9 月 30 日

- 1 この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。
- 2 重要な会計方針に係る事項に関する注記
 - (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法による原価法を採用しています。
 - (2) 固定資産の減価償却方法
 - ア リース資産
定額法を採用しています。
 - イ 有形固定資産
定額法又は旧定額法を採用しています。
なお、一括償却資産については、3年均等償却を採用しています。
 - ウ 無形固定資産
定額法又は旧定額法を採用しています。
 - (3) 引当金の計上基準
 - ア 貸倒引当金
債権の貸倒損失に備えるため、法人税法に規定する法定繰入率により計算した回収不能見込み額を計上しています。
 - (4) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式を採用しています。
- 3 貸借対照表等に関する注記
 - (1) 有形固定資産の減価償却累計額 20,025,450 円
- 4 株主資本等変動計算書に関する注記
 - (1) 発行済株式総数 500 株
- 5 一株当たり情報に関する注記
 - (1) 一株当たり純資産額は、△52,237.01 円です。
 - (2) 一株当たり当期純利益は、△6,587.04 円です。

監 査 報 告 書

1 監査対象期間（第 27 期）

自 平成 29 年 10 月 1 日
至 平成 30 年 9 月 30 日

2 監査概要

私たち監査役は、株式会社北前館の第 27 期の営業年度における経営状況について、平成 30 年 10 月 24 日代表取締役石田孝一より提出された貸借対照表、損益計算書及び収支証拠書類並びにこれらに付帯する関係補助簿について照合精査いたしました。なお、この度の監査において監査場所は株式会社北前館、監査立会人は、代表取締役石田孝一でした。

3 監査結果

- (1) 会計全般にわたり、関係帳簿と照合精査した結果、会計帳簿の記載金額と一致し財産目録、貸借対照表及び損益計算書は、株式会社北前館の損益の状況を正しく表示していると認めます。
- (2) 取締役の職務遂行に関する不正行為又は、定款に違反する事実はないと認めます。

4 監査意見書

私たち監査役は、毎月の役員会に出席して取締役の経営検討執行状況及び、日々の従業員の勤務状況も確認してきました。

レストラン部門の売上げは、この 10 年間で第 19 期の 50,048 千円をピークに下降傾向にあり、前年度の第 26 期には 36,240 千円と、実に 13,808 千円の減少で、経常利益は全ての期で赤字となり、前期は最もその額は多く、実に 7,218 千円の赤字でした。

それらを踏まえ、創業以来初めてと云っていい危急存亡の時に立たされて、そのレストラン部門を直営から委託に変更という、大英断を下されたことは正しい判断と考えられます。

これから先、安定した経営体制が早期に確立されるよう、取締役及び社員全員が一丸となり、また、株主や地元の温かい協力、声援を受けて、尚一層の努力をされることを切に望みます。

平成 30 年 10 月 24 日

監査役 太田垣 征 司

監査役 宮 嶋 俊 夫

株式会社 北 前 館

代表取締役 石 田 孝 一 殿

株式会社北前館第 28 期事業計画及び収支計画

1 事業計画

山陰海岸ジオパークが世界ジオパークネットワークに加盟認定されて8年が経過しました。竹野海岸を訪れる外国の方も増えてきた中、竹野エリアの中核施設として、交流の拠点施設として地域の活性化に資するとともに、前期には懸案だったレストラン事業の外部委託を決断、実行したことから、今期は株式会社北前館の再生元年と位置づけ、各部門の事業を展開してまいります。

温泉部門では特に「竹野絶景温泉」というコンセプトのもと、利用者が雄大な日本海を眺めながら落ち着いて入浴して頂ける施設としてPRに努めます。また水道光熱費の増加は今後も続く予想されることから、時間帯による入浴者数の動向を踏まえ、利用者の少ない時期には開始時間の変更を検討するなど経費節減を図るとともに、レストラン事業受託者と連携をとりながら収益の改善を図ってまいります。

特産品部門では、市内や但馬漁協などで製造された商品を前面に出すとともに、売れ筋商品を順位付けして人気商品をPRし、売り上げ増に繋がります。

ジオカヌーでは需要が増えてきており、インストラクターを充実して対応するとともに、料金体系を見直し収益の改善を図ることにいたします。

受託業務として「かぜまちミュージアム」の管理運営があり、ジオパークの中核施設として市内小中学生のジオ学習の場として機能を発揮してまいります。

北前館として今後も地域の核となれるよう運営してまいりますので株主の皆様を初め地域の皆様にご理解とご協力を賜りますようお願い致します。

予 定 損 益 計 算 書

株式会社 北前館

自 平成 30 年 10 月 1 日
至 平成 31 年 9 月 30 日

科 目	金 額	
(営業損益の部)		千円
【売 上 高】		57,300
温泉浴場売上高	19,900	
特産品店売上高	10,900	
受 託 料	9,300	
駐 車 場 整 理 料	9,400	
ジオカヌー利用料	4,900	
レ ス ト ラ ン	1,500	
そ の 他	1,400	
【売 上 原 価】		7,017
期 首 棚 卸 高	516	
仕 入 高	6,896	
合 計	7,412	
期 末 棚 卸 高	395	
売 上 総 利 益		50,283
【販売費及び一般管理費】		44,454
営 業 利 益		5,829
(営業外損益の部)		
【営 業 外 収 益】		3
受 取 利 息	1	
受 取 配 当 金	1	
雑 収 入	1	
【営 業 外 費 用】		732
支 払 利 息	732	
経 常 利 益		5,100

販売費及び一般管理費内訳書

株式会社 北前館

自 平成 30 年 10 月 1 日

至 平成 31 年 9 月 30 日

科 目	金 額	千円
給 与 ・ 手 当	13,343	
広 告 宣 伝 費	1,027	
発 送 配 達 費	85	
役 員 報 酬	830	
法 定 福 利 費	1,064	
福 利 厚 生 費	245	
減 価 償 却 費	1,424	
賃 借 料	370	
修 繕 費	572	
事 務 用 消 耗 品 費	261	
通 信 交 通 費	1,467	
水 道 光 熱 費	12,960	
租 税 公 課	2,297	
会 費 負 担 金	717	
接 待 交 際 費	240	
保 險 料	513	
備 品 ・ 消 耗 品 費	2,034	
支 払 手 数 料	3,211	
車 両 関 係 費	387	
リ ー ス 料	260	
雑 費	1,147	
合 計		44,454